

大阪市の救急隊が使用している、外国語対応ツールのご紹介

救急多言語問診アプリ

大阪市消防局救急部救急課

救急多言語問診アプリについて

- ◇ 大阪市消防局では、来阪外国人が急増している中、言語が分からない、コミュニケーションが取れない等の理由により、救急活動時間が長くなる等、その対応に苦慮している現状がありました。
- ◇ そこで、日本語を話すことが出来ない傷病者のために、症状などを的確に問診することができるアプリを、救急隊員として勤務する当局の職員が開発・提案し、さらに、大阪市ICT戦略室の協力のもとバージョンアップさせ、平成29年3月から大阪市の全救急隊が運用しています。
- ◇ 問診や補足情報は、翻訳結果にまとめて表示されます。
- ◇ 処置内容説明画面では、実施する処置内容をタップすることにより、各言語で表示されます。
- ◇ 当アプリは日本語を含む15言語に対応しており、各問診画面の項目をタップすれば下段に日本語の翻訳結果が表示されます。
- ◇ 対応言語のうち「日本語」については、聴覚障がい者に対する問診に活用できます。

英語、韓国語、中国語(簡体字)／(繁体字)、タイ語、タガログ語
フランス語、インドネシア語、ポルトガル語、ベトナム語、ドイツ語
スペイン語、ロシア語、マレー語、日本語

アプリの使い方

- ①【言語選択画面】 ②【ホーム画面(日本語表記)】 ③【傷病者情報】



- ① アプリを起動すると【言語選択画面】になる。15言語の中から使用する言語をタップする。
- ② いずれかの言語をタップすると【ホーム画面】に展開する。この画面にて必要項目をタップする。
- ③ はじめに【傷病者情報】をタップし、名前等を入力する。